

## 選挙前の愛想笑い選挙後の圧政・暴走見抜く眼と許さぬ力を！！

### アピール

安倍政権は、参議院選挙を前にして「3万円の低年金者給付金」に象徴される露骨で底の浅い選挙対策の人気取り策を前面に出し、本音である社会保障抑制を水面下で準備しています。一昨年の総選挙前には自衛隊の海外での武力行使に道を開く安全保障関連法制に関しては口をつぐみ、できもしない「アベノミクス」などという経済政策を前面に出し、選挙後には一転、昨年第189国会で、憲法学者などから憲法違反だと指摘される安全保障関連法制を強行しました。そして今また、参議院選挙を前にした愛想笑い、選挙後の無慈悲な社会保障抑制と憲法改正への暴走という、国民を愚民視する振る舞いを重ねようとしています。しかも愛想笑いのかげで準備している社会保障抑制・不人気なテーマについては別段隠そうともせず、経済財政諮問会議と財政制度等審議会を用いて工程表を用意し、選挙後に一気に具体案を浮上させて2017年国会に法案を出す方向を示しています。さらには憲法改正を公言し、着々とその体制を整えています。

昨年9月の安全保障法制を強行した後、「国民は正月の餅を食べたらこのことは忘れる」といった自民党議員の国民蔑視発言が伝えられました。国民がわずか半年前の記憶と怒りを忘れ、半年後に迫った参議院選挙での反撃すらしないとするなら、安倍政権の国民蔑視は残念ながら的外れとはいえないのではないでしょうか。

日本退職者連合は、誰もが安心して暮らせる社会づくりに向けて、社会保障機能強化の要求を堅持し、目先のごまかしや人気取り、国民生活を破壊する制度改悪を許さない取り組みを粘り強く進めて行きます。そのために、安倍強権政治による「その日暮らし・気分勝負の経済政策」「市民生活を企業と投資家に差し出す政策」を絶対に許してはなりません。

私たちは、今まさに主権者の平和・人権を大切にすることを堅持し、安倍暴走政権の薄笑いの下に潜む愚民思想と選挙後の圧政・暴走を見抜く眼が求められ、反撃する力が試されています。参議院選挙・国政選挙に向けた闘いはすでに始まっています。連合と心をつにし、連合の組織内候補はもとより推薦候補の完勝を目指して力の限りを尽くそうではありませんか。

2016年2月17日

日本退職者連合政策要求実現2. 17院内集会